

戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議委員名簿

	種別	所属
1	地域代表	戸塚区連合町内会自治会連絡会 会長 (上矢部連合町内会)
2		戸塚第一地区連合町内会 会長
3		戸塚第二地区連合町内会 会長
4		戸塚第三地区連合町内会 会長
5		柏尾地区連合町内会 会長
6		上倉田地区連合会 会長
7		吉田矢部地区連合会 会長
8	関係機関	神奈川中央交通株式会社運輸計画部 計画課長
9		江ノ島電鉄株式会社自動車部 計画管理課長
10		一般社団法人 神奈川県タクシー協会横浜支部 事務局長
11		一般財団法人神奈川県タクシーセンター 施設管理課 課長
12		神奈川県個人タクシー協会 専務理事
13		神奈川県戸塚警察署 交通課長
14	行政	戸塚土木事務所 副所長
15		都市整備局 市街地整備推進課長
16		道路局施設課 バリアフリー対策等担当課長
17	事務局	戸塚区 区政推進課長
18		道路局企画課 交通計画担当課長

戸塚駅周辺地区
住み続けたいまち・みちづくりプラン
(案)

第 3 回 住み続けたいまち・
みちづくり検討会議時点案

平成 年 月 日

横浜市道路局・戸塚区

目 次

1 「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」について	1
（1）背景	1
（2）目的	1
（3）住み続けたいまち・みちづくりの視点	1
2 「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン」について	2
（1）プラン策定地区の選定理由	2
（2）本プランの位置づけ	2
（3）プラン策定の検討体制	3
（4）プランの策定範囲	5
3 戸塚駅周辺地区の現況・課題	6
（1）現地の状況	6
（2）現況・課題の整理	9
4 課題解決に向けた対応策	10
参考 これまでの経緯	25
Ⅰ. 第1回 戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議	
Ⅱ. 「戸塚駅周辺のみちづくり」に関する意見募集と結果	
Ⅲ. 第2回 戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議	

1 「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」について

(1) 背景

生産年齢人口の減少や少子高齢化の進展により、人口構成の高齢化へのスライドが進行し、平成 37 年には横浜市の高齢者数が約 100 万人へと大幅に増加するなど、これまでに経験したことがない状況が予測されています。

横浜市中期 4 か年計画 2014～2017 では、「未来のまちづくり戦略」の一つに『魅力と活力あふれる都市の再生』戦略を掲げ、郊外部の再生・活性化を位置づけていました。横浜市中期 4 か年計画 2018～2021（原案）においても「人が、企業が集い躍動するまちづくり」戦略の誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部として引き継がれています。

そのまちづくりの方向性として、「郊外部では、駅周辺をはじめ、徒歩や公共交通機関で行ける身近な範囲に、生活利便施設やコミュニティ施設が集積し、身近な場所で水や緑を実感できる、誰もが住みたい、住み続けたいと思える、暮らしやすく魅力あふれるまちづくりを推進していきます。」を掲げていました。

これまで横浜市では、多くの人が集い交流する駅や駅前広場等の交通結節点の再整備や、各区の拠点となる駅周辺のバリアフリー化などに取り組むなど、駅周辺の利便性や安全性の向上を図る取り組みを事業ごとに進めてきました。そこで、駅周辺の事業を一体的に進めるため「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」を立ち上げ取り組むことにしました。

(2) 目的

「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」は、上記の背景を受けて、安全、快適で、誰もが「住み続けたい」と思える便利で魅力的なまちを目指し、駅周辺の利便性や魅力を高めるまちづくりを一体的に図るために、駅周辺のみちづくりについて取組の方向性等を位置付けた、住み続けたいまち・みちづくりプラン（以下「プラン」といいます。）を策定するものです。

(3) 住み続けたいまち・みちづくりの視点

駅周辺の利便性や魅力を高めるまちづくりの実現に向けた、駅周辺のみちづくりを進めていくための視点は次のとおりです。

① 安全、快適に暮らせる歩行者空間づくり

② 公共交通を中心とした環境づくり

③ 公共交通の乗換えの円滑化

④ 便利で魅力的な駅前のまちづくり

2 「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン」について

(1) プラン策定地区の選定理由

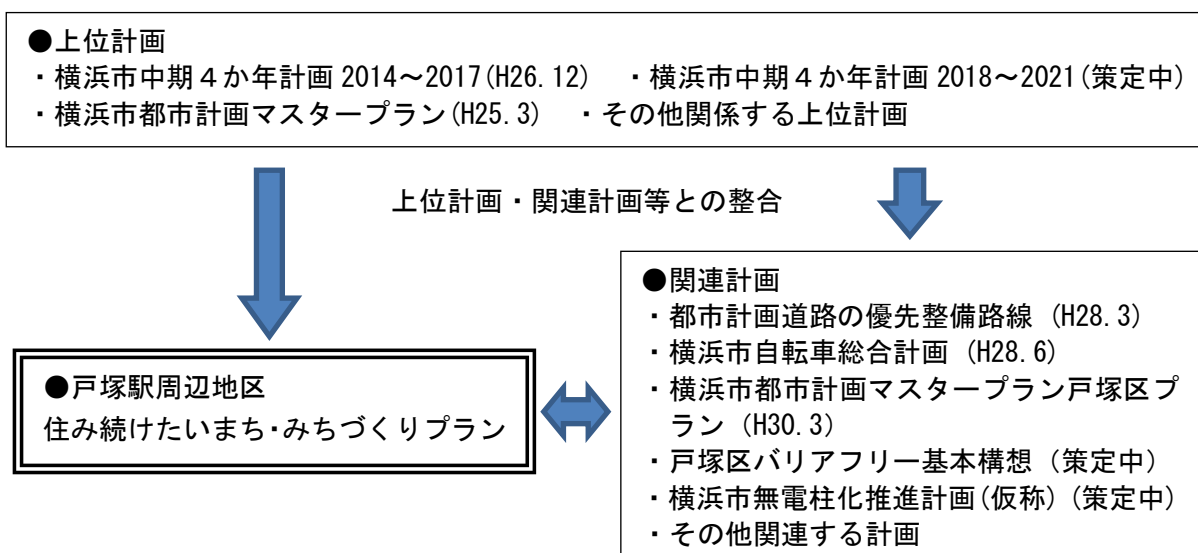
戸塚駅周辺地区の選定理由は、次のとおりです。

- ・ 「横浜市都市計画マスタープラン（全体構想）」（平成 25 年 3 月）において、「主要な生活拠点」に位置づけられています。
- ・ 戸塚駅には、J R 東海道本線・横須賀線・湘南新宿ラインと市営地下鉄ブルーラインが乗り入れており、またバスについては神奈川中央交通バス、江ノ電バスなどの路線バスや、高速バスが運行しており、ターミナル駅としての役割を担っています。
- ・ 平成 20 年 5 月に、戸塚駅周辺地区バリアフリー基本構想が策定され、この基本構想に基づき、バリアフリー化の事業が進められました。
- ・ 平成 25 年に、戸塚駅西口第 1 地区第二種市街地再開発事業が完了し、また、平成 28 年に戸塚駅前地区中央土地区画整理事業が完了しました。

戸塚駅周辺でのこれらの現状を踏まえ、魅力あるまち・みちづくりを進めていくために、プラン策定地区として選定します。

(2) 本プランの位置づけ

本プランは、「住み続けたいまち・みちづくり推進事業」の背景、目的、視点を踏まえて、戸塚駅周辺の課題解決を一体的に図るため、上位計画を踏まえ関連計画と整合したみちづくりの事業内容、箇所および実施スケジュールを個別に定めるものです。



(3) プラン策定の検討体制

ア 検討体制

プラン策定に際しては、実際の地域のニーズに的確に対応したプランを作成することが求められています。また、プランの内容をより実効性のあるものとするためには、公共交通事業者、道路管理者、交通管理者などの協力が必要となります。

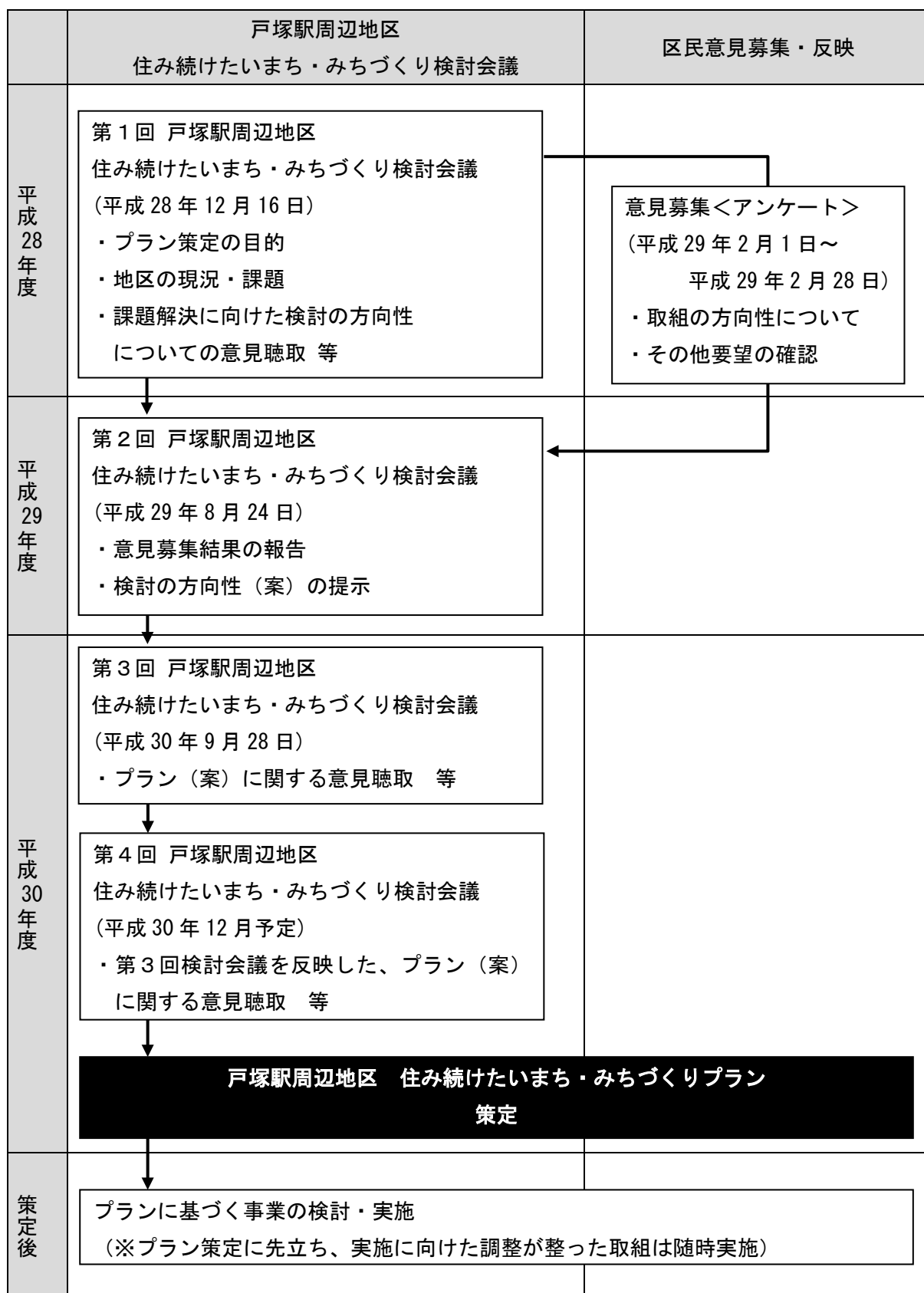
これらを踏まえ、本プラン策定にあたっては、「戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議」を設置し、検討を進めました。

イ 戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議の参加団体

以下に検討会議の参加団体について示します。

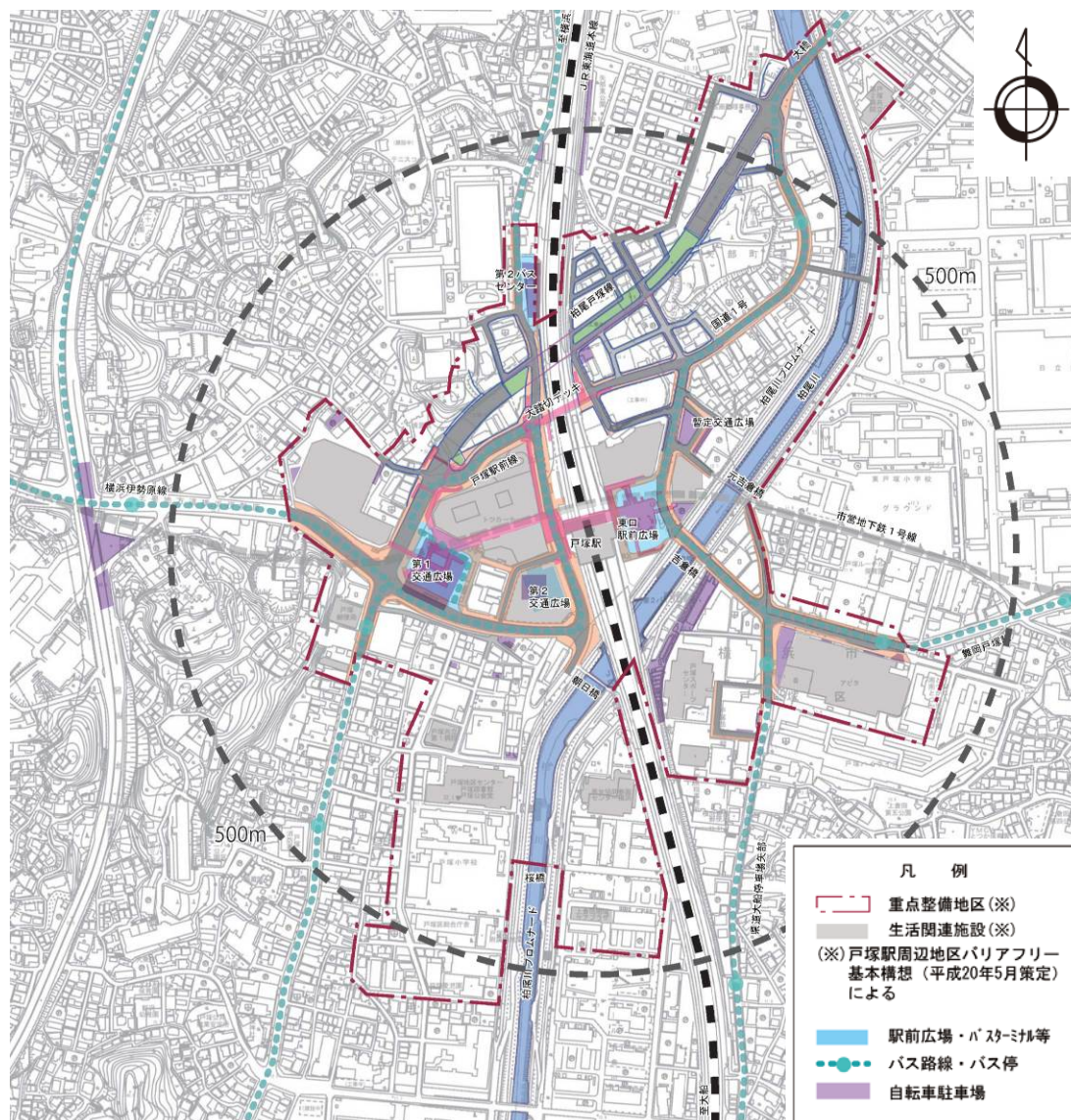
地域代表	戸塚区連合町内会自治会連絡会
	戸塚第一地区連合町内会
	戸塚第二地区連合町内会
	戸塚第三地区連合町内会
	柏尾地区連合町内会
	上矢部連合町内会
	上倉田地区連合会
	吉田矢部地区連合会
関係機関	神奈川中央交通株式会社運輸計画部計画課
	江ノ島電鉄株式会社自動車部計画管理課
	一般社団法人神奈川県タクシー協会横浜支部
	一般財団法人神奈川タクシーセンター施設管理課
	神奈川県個人タクシー協会
	神奈川県戸塚警察署交通課
行政	横浜市戸塚土木事務所
	横浜市都市整備局市街地整備部市街地整備推進課
	横浜市道路局道路部施設課
事務局	横浜市戸塚区総務部区政推進課
	横浜市道路局計画調整部企画課

ウ プラン検討の流れ



(4) プランの策定範囲

策定範囲は、駅からの徒歩圏と考えられる「駅から概ね半径500mの範囲を目安」とします。なお、利用実態や道路の連続性等に配慮し、取組の方向性や内容はこの範囲を超えて定めることもあります。



【参考】バリアフリー基本構想における重点整備地区

重点整備地区とは：鉄道駅等の旅客施設を中心とした地区等で、高齢者、障害者等が利用する施設が集まり、施設間の移動が通常徒歩で行われる地区

3 戸塚駅周辺地区の現況・課題

(1) 現地の状況

ア 歩行者空間

- ・ 戸塚駅周辺地区は、市街地再開発事業や土地区画整理事業による面的整備が進められており、地区の骨格となる道路には、歩道が整備されています。



戸塚駅東口側の歩行者空間



戸塚駅西口側の歩行者空間



- ・ 東口駅前広場や元吉倉橋は、多くの通勤・通学者に利用されていますが、階段を通らなければならない通路や、スロープが急勾配である箇所等がみられます。

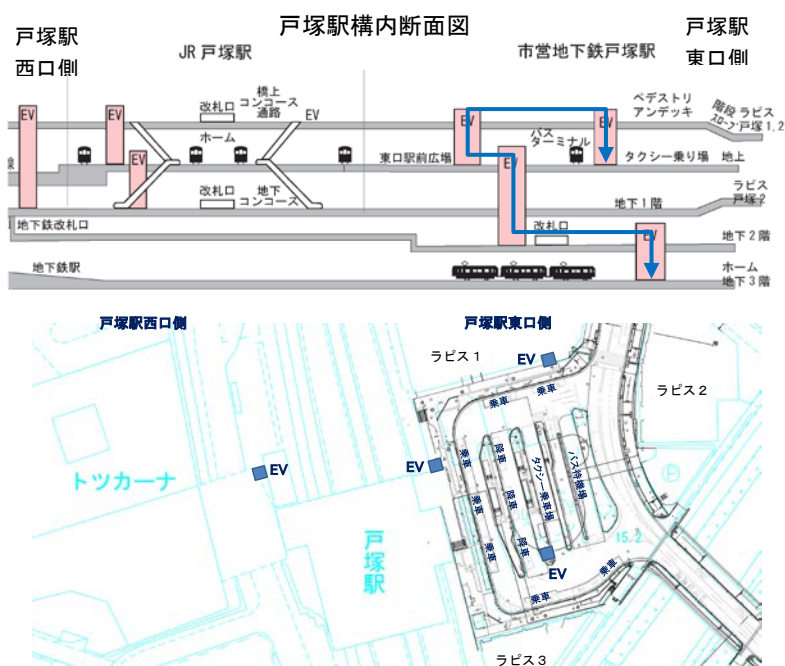


デッキとラピス1のスロープ、ラピス3の接続部は階段のみ



元吉倉橋の通勤時間帯

- ・ 東口駅前広場では、地下鉄改札階（地下2階）からペDESTリアンデッキ階（地上2階）まで連続したエレベーターがありません。例えば、地下鉄ホーム（地下3階）からタクシー乗車場に向かう場合、エレベーターを4回乗る必要があります。（下図の青矢印参照）



イ 交通結節点・公共交通

- ・ 東口駅前広場内では、バス交通が混雑しており車路部での降車や乱横断が見られます。
- ・ 東口には暫定交通広場があり、一般車乗降場、自転車駐車場、自動車駐車場として現在は利用されています。
- ・ 戸塚駅東口の朝の交通量のピーク時には、暫定交通広場を使わず、駅直近で降車させる一般車が多く、渋滞の要因のひとつになっています。



舞岡戸塚線での渋滞の様子



車路でのバスの降車の様子



暫定交通広場での一般車の駐停車の様子

- ・ 戸塚駅西口側では、バス乗降場として第1交通広場、第2バスセンターと戸塚駅前線のバス降車場があります。戸塚駅前線など周辺道路では、バス降車場周辺での一般車の駐停車が見られます。



第1交通広場



第2バスセンター



戸塚駅前線での一般車の駐停車の様子

ウ 駅前の魅力

- ・ 戸塚駅周辺には、南北に柏尾川が流れています。戸塚駅からのアクセスが良く、桜の花見等、地域に親しまれていますが、距離標がなく、河川敷が暗いなど、歩行環境が整っていない状況にあります。



柏尾川プロムナード（西口側）



柏尾川プロムナード（東口側）



柏尾川遠景と桜

エ 自転車利用環境

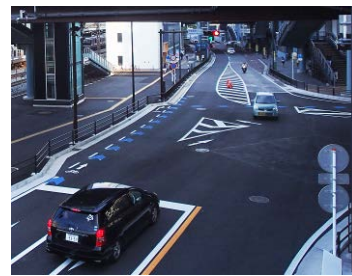
- ・ 戸塚駅は、駅周辺への自転車の利用台数が多く、定期利用補欠待機者数も多い駅です。
- ・ 戸塚駅周辺では市街地再開発事業等により、自転車駐車場が整備されていますが、放置自転車が見られます。
- ・ 戸塚駅前線では、矢羽根型の路面表示による通行位置の明示等にも取り組んでいます。
- ・ 車道の左側通行などの基本的なルールを守らない自転車、整備が不十分な通行空間、路上に放置される自転車など、自転車の利用に関する様々な問題が生じています。



放置自転車の様子



戸塚駅周辺の自転車通行



矢羽根型の路面表示の設置

(2) 現況・課題の整理

1 東口駅前広場でのバス交通の混雑、歩行者の乱横断

- ・東口駅前広場内でのバス交通の混雑
- ・東口駅前広場内での歩行者の乱横断



2 東口周辺のバリアフリーに関する課題

- ・エレベーターの乗り継ぎが多い
- ・デッキとラピスへの接続部は、バリアフリー対応がされていない

3 柏尾川プロムナードの活用に関する課題

- ・距離標が無い、河川敷が暗いなど



4 暫定交通広場の活用の検討

- ・一般車乗降場等として利用
- ・交通広場機能の検討など暫定交通広場の活用



5 駅周辺の一般車等による交通混雑

- ・駅前道路での一般車の駐停車が多い

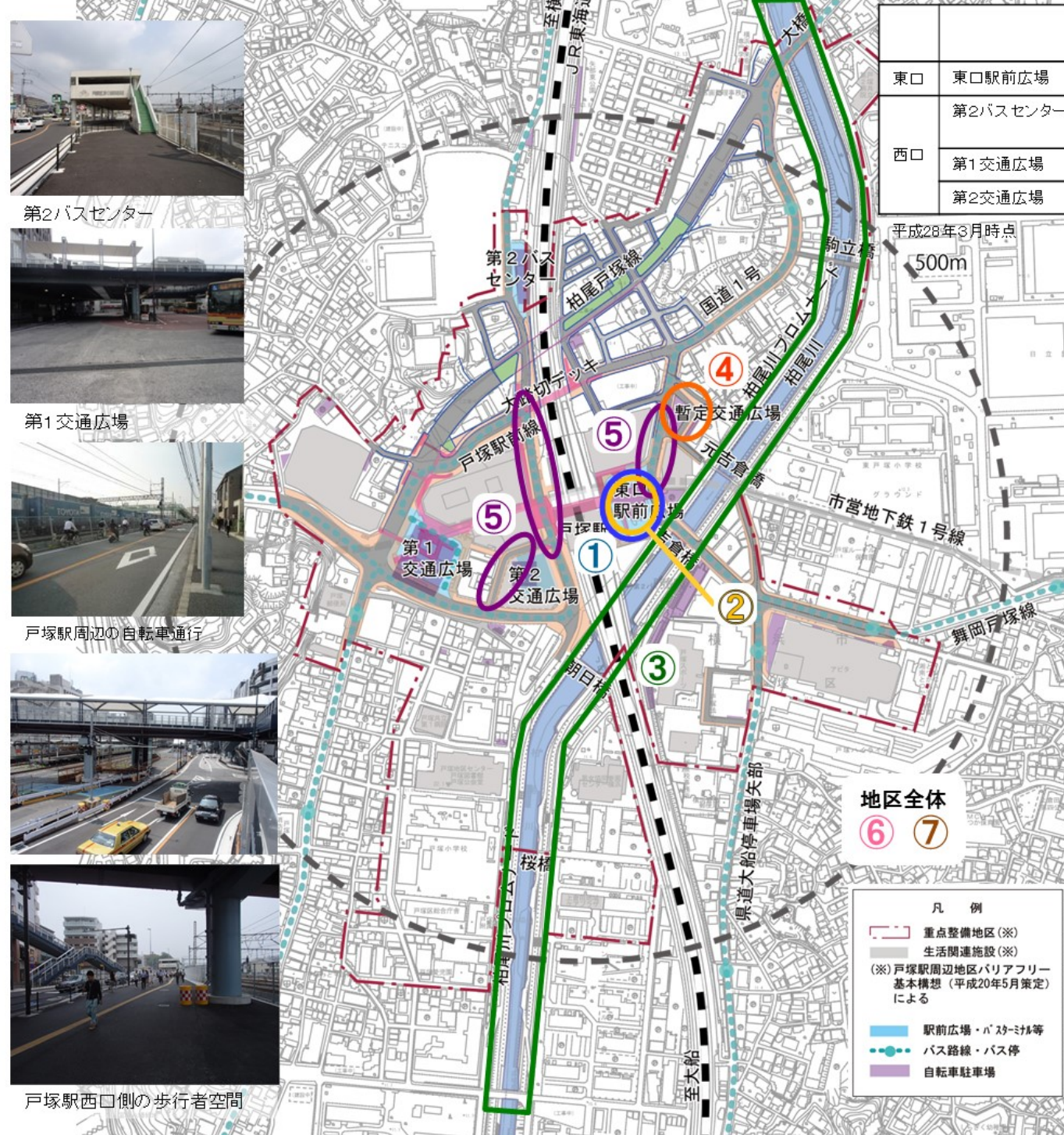
6 自転車利用環境に関する課題

- ・自転車通行空間が不十分
- ・戸塚駅周辺で放置自転車が見られる

7 歩行者空間に関する課題

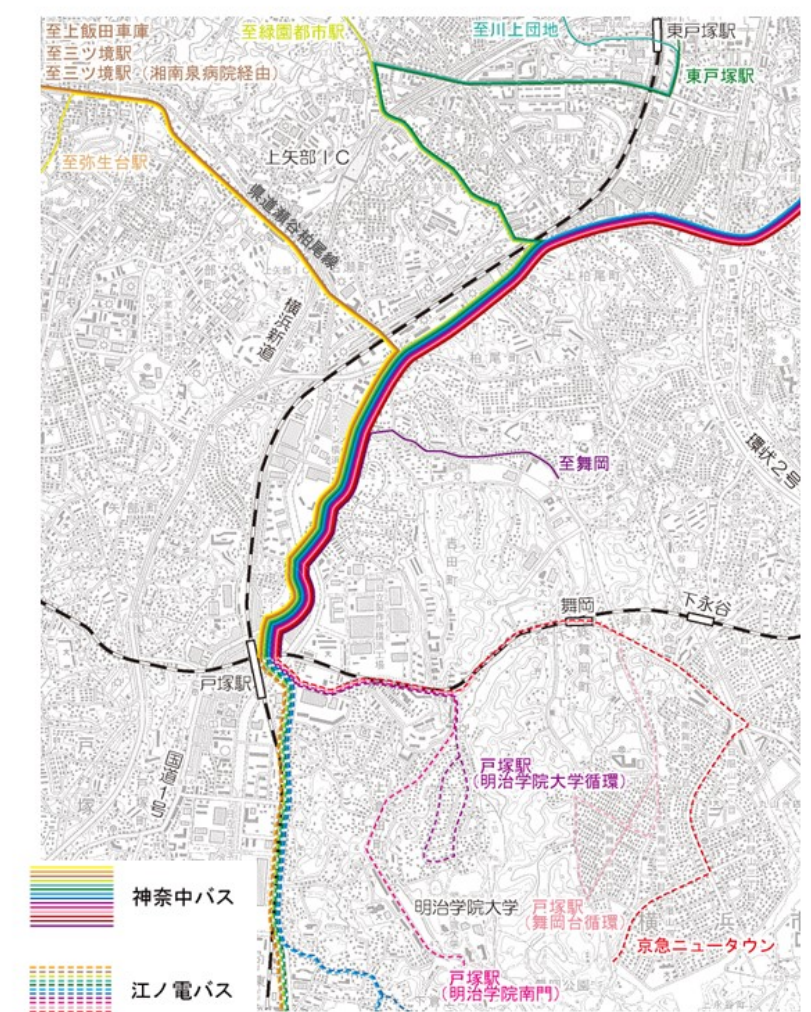
- ・歩道の狭い箇所
- ・高齢者を含む全ての人が安全で快適に利用できる歩行者空間等の向上

現況・課題図



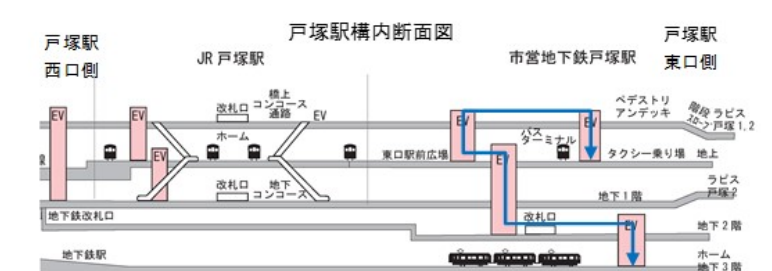
		バスの利用状況	平日1日あたりの発着便数
東口	東口駅前広場	バス乗車場7バス、28系統	約2,500便/日
	第2バスセンター	バス乗車場1バス、8系統	約200便/日
西口	第1交通広場	バス乗車場6バス、18系統	約1,250便/日
	第2交通広場	(タクシーと、一般車のみ)	

戸塚駅東口側のバス路線図



駅構内断面図

- ・地下2階からデッキ階まで連続したエレベーターがない。
- ・地下鉄ホームからタクシー乗車場に向かう場合、エレベーターを4回、乗る必要がある。



舞岡戸塚線での渋滞の様子

4 課題解決に向けた対応策

3で整理した課題の解決に向けて、以下に示す7つの項目について取り組みます。

各項目の現状・課題、対応策、実施スケジュールについては次頁以降のとおりです。

実施スケジュールについては、それぞれの対応策において短期（3年以内）、中期（5年以内）、長期（5年以上）に分類しています。

1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充

- ・東口駅前広場に発着している県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線の西口への移転、明治学院大学行きバスの発着場所移転について検討します。また、タクシー乗降場も含めた再編成などについて検討していきます。

2 駅周辺のバリアフリー化

- ・バリアフリー基本構想の見直し、東口駅前広場のバリアフリー化などを検討します。

3 柏尾川沿いの水辺の魅力向上

- ・健康みちづくりによるプロムナードの魅力向上などについて実施します。

4 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進

- ・暫定交通広場の活用による、都市機能の増進などを図ります。

5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車の適正化

- ・駅前の駐停車対策、既存の乗降場の円滑な運用、自動車交通の円滑化などについて検討していきます。

6 自転車利用環境の向上

- ・自転車通行空間整備実行計画の策定や、自転車駐車場の附置義務条例を適切に運用することにより、自転車利用環境の向上を図ります。

7 安全な歩行者空間の確保

- ・市道矢部 281 号線（住宅展示場前）の歩道拡幅など安全な歩行者空間の確保を実施します。

※なお、対応策の内容と実施スケジュールについては、現段階の協議や調整状況によるものであり、今後、地域の実情や関係事業者等との協議・調整状況等を踏まえて検討を行った結果、対応策の内容や実施スケジュール等について変更することがあります。

東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充

(1) 現況・課題

東口駅前広場には、現在、神奈川中央交通と江ノ島電鉄の路線バス等のバスやタクシーが乗り入れています。バスの発着便数（平日）は約 2,500 便/日となっています。車路部での降車、乱横断なども見られ、駅前広場の混雑緩和が課題となっています。

(2) 対応策

戸塚駅東口で発着するバス路線のうち、路線の行き先や経由地などを踏まえ、東口の混雑緩和への寄与が見込まれるバス路線の再編を検討します。なお、実際の再編にあたっては、バス事業者、交通管理者等との調整が必要です。

① 東口駅前広場に発着している、県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線発着場所の西口への移転

東口駅前広場に発着しているバス路線のうち、J R 東海道本線以西を目的地とし、不動坂交差点を経由して県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線について、発着場所の西口側への移転に向けた調整を進めます。

同時に、移転に伴う西口バスセンターの混雑を避けるため、西口に発着するバス路線の運行効率化を併せて推進します。

⇒ 実施スケジュール：短期（3年以内）

○不動坂交差点を経由して県道瀬谷柏尾方面を運行するバス 平成 28 年 3 月時点

- ・ 運行状況：6 番ポール（1 バース）
- ・ 発着路線：5 系統 発 146 便
- ・ ピーク時間：発 14 便/8 時

出典：神奈川中央交通バス時刻表より算定 平成 28 年 3 月時点

② 明治学院大学行きバス発着場所の移転

朝ピーク時を中心に利用者数・便数が多い明治学院大学行きのバス路線は、発着場所を東口駅前広場から近隣周辺部への移転を検討します。

⇒ 実施スケジュール：中期（5年以内）

○明治学院大学行きバス

- ・ 運行状況：8 番ポール（1 バース）
- ・ 発着路線：1 系統 発 A ダイヤ 114 便、B ダイヤ 92 便 ※
- ・ ピーク時間：発 17 便/10 時

※平常時は A ダイヤ、学校が長期休暇中は B ダイヤで運行

出典：江ノ電バス時刻表より算定 平成 28 年 3 月時点

③ バス・タクシー等の乗降場所全体の再編成

東口駅前広場の運用効率のさらなる向上やバリアフリー動線の確保のため、バス路線の移転の進捗を見ながら、バス・タクシー等を含めた広場全体の乗降場所の再配置を検討します。

⇒ 実施スケジュール：長期（５年以上）

(1) 現況・課題

戸塚駅周辺地区では、駅から公的施設等までの円滑な移動等を実現し、移動の利便性及び安全性の向上を促進することを目的として、平成20年5月にバリアフリー基本構想を策定しています。現在、策定から約10年が経過し、その間に市街地再開発事業や土地区画整理事業が実施される等、駅周辺の土地利用や人の流れに変化が生じています。

また、東口駅前広場では、エレベーターで移動する場合、地下鉄改札階（地下2階）からペDESTリアンデッキ階（地上2階）まで連続したエレベーターがないことや、ペDESTリアンデッキとラピス1（戸塚モディ）とを接続するスロープの勾配が急であること、ラピス3との接続通路は階段のみである等、利便性の向上が課題となっています。

(2) 対応策

戸塚駅周辺地区の現状に合わせた段階的かつ継続的な計画の発展（スパイラルアップ）を図るためにバリアフリー基本構想を見直すとともに、戸塚駅東口周辺の道路施設等についてバリアフリー化します。

① バリアフリー基本構想の策定（スパイラルアップ）

既存のバリアフリー基本構想のスパイラルアップを図ることを目的として、計画の見直し・更新を実施し、新たに戸塚区バリアフリー基本構想を策定します。

⇒ 実施スケジュール：短期（3年以内）

また、各事業者が策定した基本構想の特定事業計画に基づき事業を実施し、戸塚駅周辺のバリアフリー化を推進します。

⇒ 実施スケジュール：中期（5年以内）

② 東口駅前広場のバリアフリー化検討

東口駅前広場の利便性の向上を目的として、新たに策定されるバリアフリー基本構想やバス・タクシー等の乗降場所全体の再編成等を踏まえ、対応の方向性を整理し、改善方法を検討します。

⇒ 実施スケジュール：長期（5年以上）

(1) 現況・課題

戸塚駅周辺には、地区の南北に柏尾川が流れており桜の花見等、地域に親しまれています。一方、距離標がなく、河川敷が暗いなどの課題があります。

(2) 対応策

地域資源である柏尾川の水辺整備を検討します。

① 健康みちづくりによるプロムナードの魅力向上

柏尾川で、幅広い年齢層の方がジョギングやウォーキング、通勤・通学等の多様な用途に使い水辺を感じられる、健康みちづくり（健康増進や外出意欲の向上に資する歩行空間を整備）を目指します。まずは更新計画を策定し、計画をもとに根上がり等舗装改修、距離標・案内板等の設置をしていきます。

また、柏尾川は県管理のため、実際の整備にあたっては土木事務所と連携の上、県担当課と協議を進めていきます。

⇒ 実施スケジュール：中期（5年以内）

(1) 現況・課題

暫定交通広場は、東口駅前広場の交通混雑を緩和するために、平成9年7月から一般車乗降場として供用されています。また、平成23年2月には自転車駐車が拡張整備（面積約600㎡、収容台数約500台）されています。さらに、一般車駐車場も設置されており、周辺商業施設等への来街者に利用されています。

しかしながら、東口駅前広場は、いまだに混雑が課題となっています。

(2) 対応策

都市機能の増進に向けて、暫定交通広場の交通機能を拡充しつつ、さらなる活用の可能性を検討します。

① 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進

都市機能の増進を図るため、交通広場機能を拡充しつつ上部利用等のさらなる活用の可能性について、市場性の有無等の確認をします。

⇒ 実施スケジュール：短期（3年以内）

市場性の把握後、交通機能の拡充内容及び活用に向けた事業スキームの検討をします。

⇒ 実施スケジュール：中期（5年以内）

(1) 現況・課題

駅西口側の戸塚駅前線では、朝・夕のラッシュ時に、送迎などの停車車両により、バスなどが停滞しています。

また、区役所周辺の道路や市道矢部 129 号線（坂本道路）は交通量が多く車道の幅員が狭い箇所があります。

そのため、駅前道路の駐停車対策、自動車交通の円滑化の検討が必要です。

(2) 対応策

駅周辺の交通円滑化に向けて、一般車交通の適正化について検討します。

① 駅前の駐停車対策等の検討

ア 戸塚駅前線の駐停車対策

一般車（マンション等の送迎バスを含む）の駐停車対策として、道路脇にポストコーンの設置を実施しています。今後は、設置による効果を検証し、更なる追加設置等の対策を検討します。

⇒ 実施スケジュール：短期（3年以内）

イ 戸塚駅西口第3地区の駐停車対策

地区内の駐停車対策としては、警察への取締強化の依頼や周辺施設管理者への注意喚起等を行っていきます。

⇒ 実施スケジュール：短期（3年以内）

② 一般車乗降場の確保検討

ア 第2交通広場（区役所下）の円滑な運用

第2交通広場の一般車乗降場では、現在、道路交通法の規定を参考に、停車時間を5分以内とし、超過した際には管理会社から速やかな移動をお願いしています。

今後は、利用者の安全性に配慮しながら、利便性の向上につながる円滑な運用について検討を行っていきます。

⇒ 実施スケジュール：短期（3年以内）

③ 自動車交通の円滑化検討

ア 市道戸塚 520 号線（区役所と戸塚パルソの間）の交通円滑化の対策実施

市道戸塚 520 号線については、一般車の停車が多く、車両の通行に支障が生じています。このため、交通の円滑化に向けて検討します。

⇒ 実施スケジュール：短期（3 年以内）

イ 市道矢部 129 号線（坂本道路）の拡幅及び蔵坪交差点改良

市道矢部第 129 号線（坂本道路）の拡幅については、平成 28 年度から拡幅整備を実施しており、平成 30 年度も JR 側の水路部分を車道化する拡幅整備を行っていきます。また、蔵坪交差点についても拡幅整備に向けて土地所有者と協議を進め、早期の整備に努めます。

⇒ 実施スケジュール：中期（5 年以内）

(1) 現況・課題

自転車は、便利で身近、健康や環境に良い乗り物で利用が増えていますが、車道の左側通行などの基本的なルールを守らない自転車と歩行者の錯綜、路上の放置自転車による歩行者空間の阻害や景観の悪化など様々な問題が生じています。

そうしたことから、戸塚駅前線では、矢羽根型の路面表示による通行位置の明示等に取り組んでいますが、自転車通行空間という点では不十分な状況です。また、市街地再開発事業等により、自転車駐車が整備されましたが、駅周辺では路上に放置自転車が見られる等、歩行者、自転車、自動車が安全、快適に道路を利用できる環境の整備が課題となっています。

(2) 対応策

横浜市自転車総合計画に基づき、戸塚駅周辺が、自転車を安全で快適に利用でき、歩行者の安全も確保できる環境となるよう、自転車通行空間の整備に向けた実行計画を策定します。また、利用者が安心して停めることができる駐輪環境の整備を促進します。

① 自転車通行空間整備実行計画の策定検討

自転車通行空間の整備を着実に推進するため、自転車の通行状況を調査・分析し、横浜市自転車通行環境整備指針（本市における自転車通行空間整備の考え方を整理したガイドライン）に沿った自転車通行空間整備実行計画（重点的な対策を行うエリアごとに具体の整備箇所や整備形態、目標等を設定した計画）を駅中心に半径 1km の範囲で安全性の確保、自転車駐車場や施設の立地状況、それらを利用する自転車利用者の主な経路などを考慮し、策定します。（整備対象路線の詳細は、次ページの概要図を参照）

⇒ 実施スケジュール：短期（3年以内）

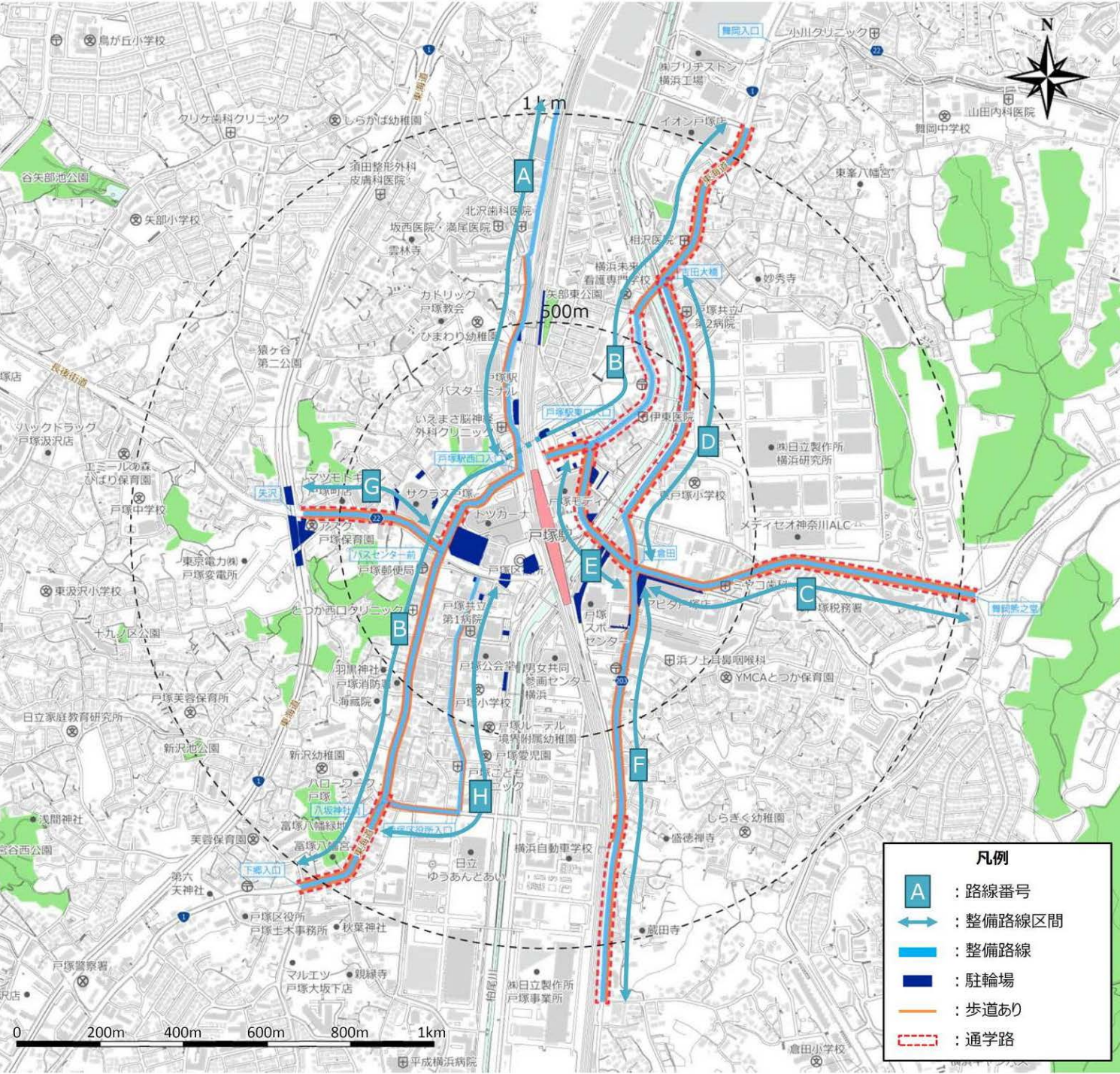
② 附置義務制度による駐輪環境整備

市街地再開発事業にあわせて大規模な自転車駐車場を整備したことにより、駅利用者による放置は大幅に改善されてきていますが、集客施設周辺などにおいては、依然として放置自転車が発生しています。

集客施設における自転車駐車場の設置を着実に進めるため、附置義務条例を適切に運用し、駐輪環境の改善を図ります。

⇒ 実施スケジュール：長期（5年以上）

■「① 自転車通行空間整備実行計画の策定検討」における整備対象路線の概要図



図：整備対象路線図

路線	該当箇所	選定理由	整備形態	実施時期
A	戸塚駅から北側に向かう JR 西側沿線の路線	・ピーク時の自転車交通量、歩行者交通量ともに多い ・沿線に自転車駐車が立地	車道混在 (矢羽根型路面表示)	短期 (3年以内)
B	国道1号	・沿線に自転車駐車が立地 ・沿線に複数の商業施設、工場等が立地 ・戸塚駅の西側と東側を結ぶ幹線道路に指定(国道1号) ・通学路に指定されている区間あり	〃	中期 (5年以内)
C	戸塚駅東側の「上倉田交差点」から「舞岡熊之堂」交差点まで (アピタ戸塚店沿線)	・沿線に商業施設が立地 ・通学路に指定されている区間あり	〃	〃
D	柏尾川東側沿線の「上倉田」交差点から「吉田大橋」交差点まで	・沿線に企業、東戸塚小学校が立地 ・通学路に指定されている区間あり	〃	〃
E	戸塚駅東側の「上倉田」交差点から「戸塚駅東口入口」交差点(国道1号)まで	・ピーク時の自転車交通量、歩行者交通量ともに多い ・沿線に複数の商業施設が立地 ・通学路に指定されている区間あり	〃	〃
F	「上倉田」交差点から南側に向かう JR 線東側沿線の路線	・沿線に商業施設、工場が立地 ・通学路に指定されている区間あり	〃	〃
G	長後街道(主要地方道横浜伊勢原線)	・ピーク時の自転車交通量、歩行者交通量ともに多い ・沿線に複数の商業施設が立地 ・通学路に指定されている区間あり	自転車専用通行帯	〃
H	「八坂神社前」交差点から東に向かい「戸塚区役所入口」交差点を北に向かう戸塚小学校沿線の路線	・沿線に病院、小学校、その他文化施設が立地	車道混在 (矢羽根型路面表示)	〃

※なお、上表において示した整備形態は施工にあたっての詳細な設計により、変更になる場合があります。

表：整備対象路線の概要一覧

(1) 現況・課題

戸塚駅周辺地区は、これまでの市街地再開発事業や土地区画整理事業によって面的な歩道整備などが行われていますが、駅の周辺道路の中には歩道の幅員が狭い箇所や、歩道がない道路があります。

(2) 検討の方向性

既存道路の改修や新たな道路等を整備する中で歩行空間を確保します。

① 既存道路を活かした歩行者対策

ア 市道矢部 281 号線（住宅展示場前）の歩道拡幅

市道矢部第 281 号線（住宅展示場前）の歩道拡幅については、現況の歩道幅 1.5m から約 3.0m に拡幅を行います。H29 年度末から全長約 160m の内、約 100m 区間について拡幅整備を実施し、残りの区間についても、早期の整備に向け、近隣地権者と協議を行っていきます。

⇒ 実施スケジュール：長期（5 年以上）

イ バスセンター前交差点の交通流の円滑化

バスセンター前交差点の自動車及び歩行者交通をより円滑にするため、交差点の形状や信号現示の変更などについて検討します。

⇒ 実施スケジュール：中期（5 年以内）

ウ 元吉倉橋周辺の通学路対策

戸塚駅東口の利用者数の動向や、周辺の土地利用及び移動経路の状況等を踏まえながら、対応の方向性を検討します。

⇒ 実施スケジュール：長期（5 年以上）

② まちづくりの推進による歩行者空間の確保

ア 戸塚駅西口第3地区まちづくり計画等の推進

戸塚駅西口第3地区計画やまちづくり計画等に基づき歩行者空間の確保を実施します。

⇒ 実施スケジュール：長期（5年以上）

③ 幹線道路整備による歩行者対策

ア 国道1号道路整備

国道1号の長後街道（バスセンター前交差点）から桂町戸塚遠藤線（八坂神社前交差点）までの区間について、道路の拡幅を実施します。時期は平成37年度頃までに事業着手することを目指しています。

⇒ 実施スケジュール：長期（5年以上）

■課題解決に向けた実施方針図（1/3）

1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充

① 東口駅前広場に発着している、県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線の西口への移転
【実施内容】

- ・ JR東海道本線以西を目的地とし、不動坂交差点を経由して県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線について、発着場所の西口側への移転を検討
- ・ 移転先となる西口駅前広場の混雑緩和に向け、西口に発着するバス路線の運行効率化を検討

⇒実施スケジュール：短期（3年以内）

② 明治学院大学行きバス発着場所の移転
【実施内容】

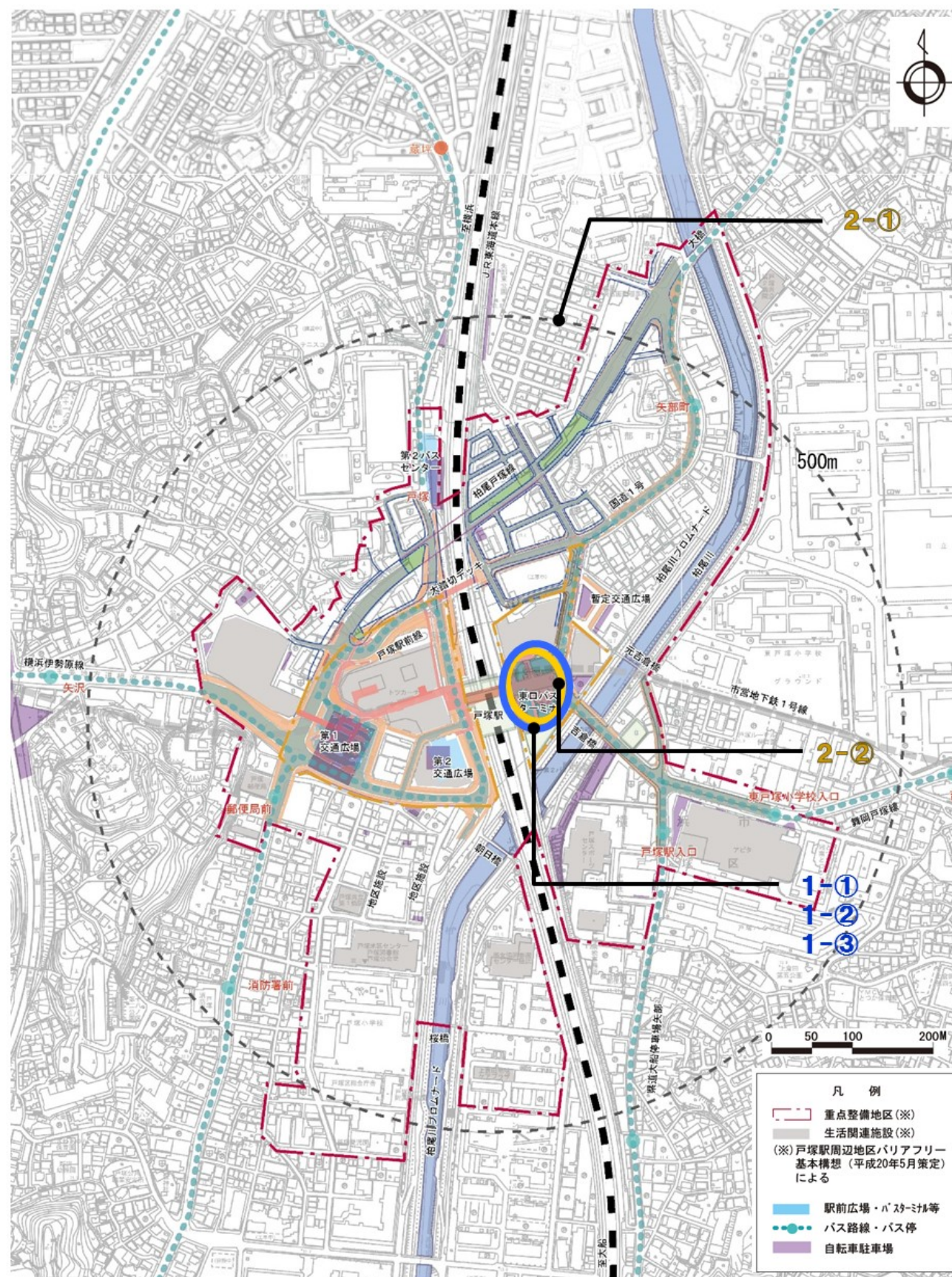
- ・ 朝ピーク時を中心に利用者数・便数が多い明治学院大学行きのバス路線について、発着場所を駅前広場から東口の近隣周辺部への移転を検討

⇒実施スケジュール：中期（5年以内）

③ バス・タクシー等の乗降場所全体の再編成
【実施内容】

- ・ 東口駅前広場の運用効率のさらなる向上やバリアフリー動線の確保のため、バス路線の移転の進捗を見ながら、バス・タクシー等を含めた広場全体の乗降場所の再配置を検討

⇒実施スケジュール：長期（5年以上）



※ 検討の方向性等の具体的な対応については確定したのではなく、今後調整・検討を進めていく中で、変更する場合があります。

2 駅周辺のバリアフリー化

① バリアフリー基本構想の策定
(スパイラルアップ)

【実施内容】

- ・ 既存のバリアフリー基本構想のスパイラルアップを図ることを目的として、計画の見直し・更新を実施し、新たに戸塚区バリアフリー基本構想を策定

⇒実施スケジュール：短期（3年以内）

- ・ 各事業者が策定した基本構想の特定事業計画に基づき事業を実施し、戸塚駅周辺のバリアフリー化を推進

⇒実施スケジュール：中期（5年以内）

② 東口駅前広場のバリアフリー化

【実施内容】

- ・ 東口駅前広場の利便性の向上を目的として、新たに策定されるバリアフリー基本構想やバス・タクシー等の乗降場所全体の再編成等を踏まえ、対応の方向性を整理し、改善方法を検討

⇒実施スケジュール：長期（5年以上）

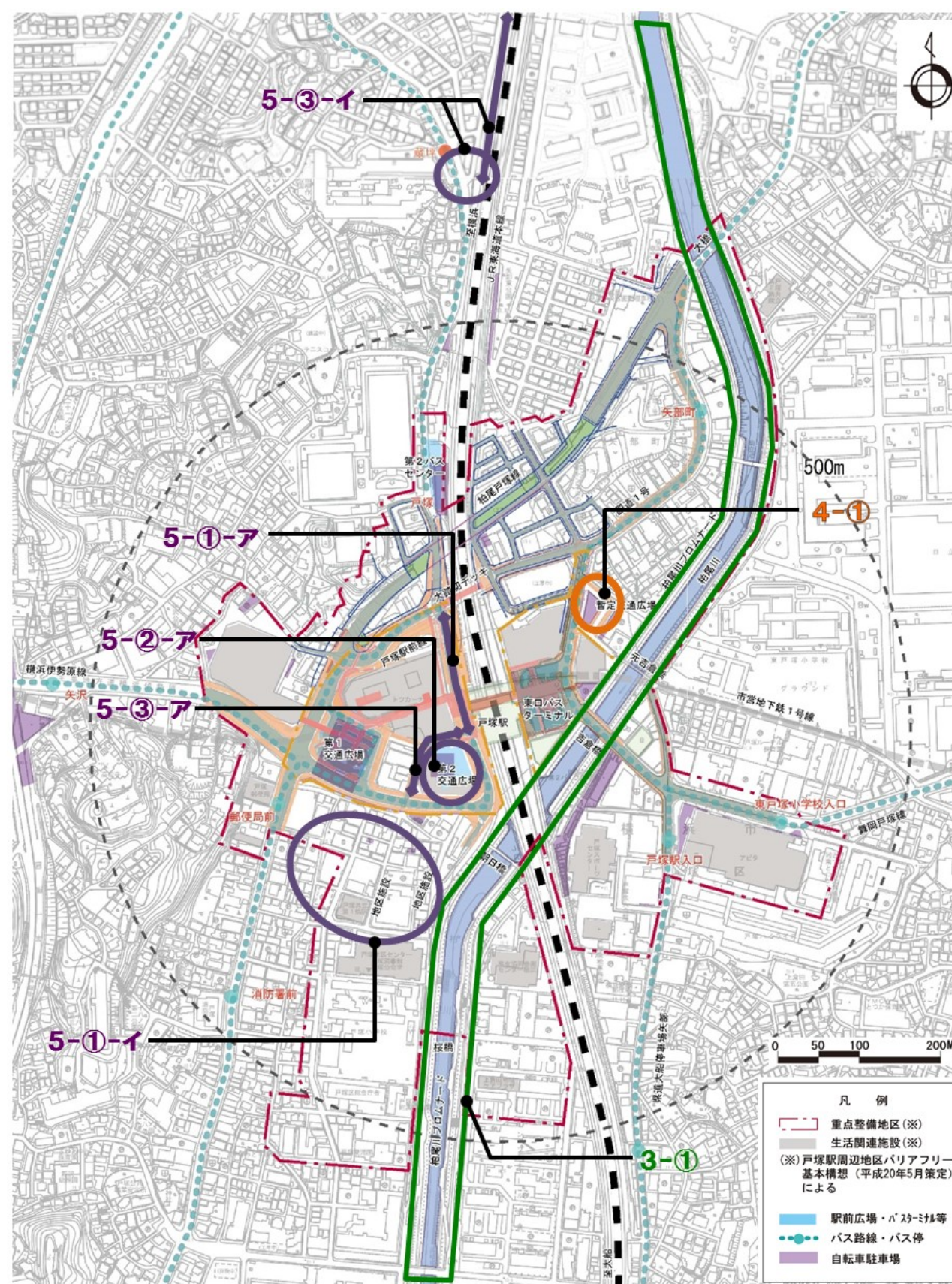
■課題解決に向けた実施方針図（2/3）

3 柏尾川沿いの水辺の魅力向上

- ① 健康みちづくりによる、プロムナードの魅力向上
【実施内容】
- ・ 柏尾川において、幅広い年齢層の方がジョギングやウォーキング、通勤・通学等の多様な用途に使い水辺を感じられる、健康みちづくり（健康増進や外出意欲の向上に資する歩行空間を整備）を目指す
⇒実施スケジュール：中期（5年以内）

4 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進

- ① 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進
【実施内容】
- ・ 都市機能の増進を図るため、交通広場機能を拡充しつつ上部利用等のさらなる活用の可能性について、市場性の有無等の確認
⇒実施スケジュール：短期（3年以内）
 - ・ 市場性の把握後、交通機能の拡充内容及び活用に向けた事業スキームの検討
⇒実施スケジュール：中期（5年以内）



※ 検討の方向性等の具体的な対応については確定したのではなく、今後調整・検討を進めていく中で、変更する場合があります。

5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車の適正化

- ① 駅前の駐停車対策
ア 戸塚駅前線の駐停車対策
【実施内容】
- ・ ポストコーンの設置による一般車の駐停車対策効果を検証し、更なる追加設置等の対策を検討
⇒実施スケジュール：短期（3年以内）
- イ 戸塚駅西口第3地区の駐停車対策
【実施内容】
- ・ 警察へ取締強化の依頼や施設管理者への注意喚起等を実施
⇒実施スケジュール：短期（3年以内）
- ② 一般車乗降場の確保
ア 第2交通広場（区役所下）の円滑な運用
【実施内容】
- ・ 利用者の安全性に配慮しながら、利便性の向上につながる円滑な運用について検討
⇒実施スケジュール：短期（3年以内）
- ③ 自動車交通の円滑化検討
ア 市道戸塚520号線（区役所と戸塚パルソの間）の交通円滑化の対策実施
【実施内容】
- ・ 交通の円滑化に向けて検討
⇒実施スケジュール：短期（3年以内）
- イ 市道矢部129号線（坂本道路）の拡幅及び蔵坪交差点改良
【実施内容】
- ・ 市道矢部129号線（坂本道路）は平成28年度から拡幅整備を実施しており、平成30年度もJR側の水路部分を車道化する拡幅整備の実施。
 - ・ 蔵坪交差点について、拡幅整備に向けて土地所有者と協議を進め、早期の整備に努める
⇒実施スケジュール：中期（5年以内）

6

自転車利用環境の向上

① 自転車通行空間整備実行計画の策定

【実施内容】

- ・自転車の通行状況を調査・分析し、横浜市自転車通行環境整備指針に沿った、自転車通行空間整備実行計画を駅中心に半径1kmの範囲で安全性の確保、自転車駐車場や施設の立地状況、それらを利用する自転車利用者の主な経路などを考慮し、策定

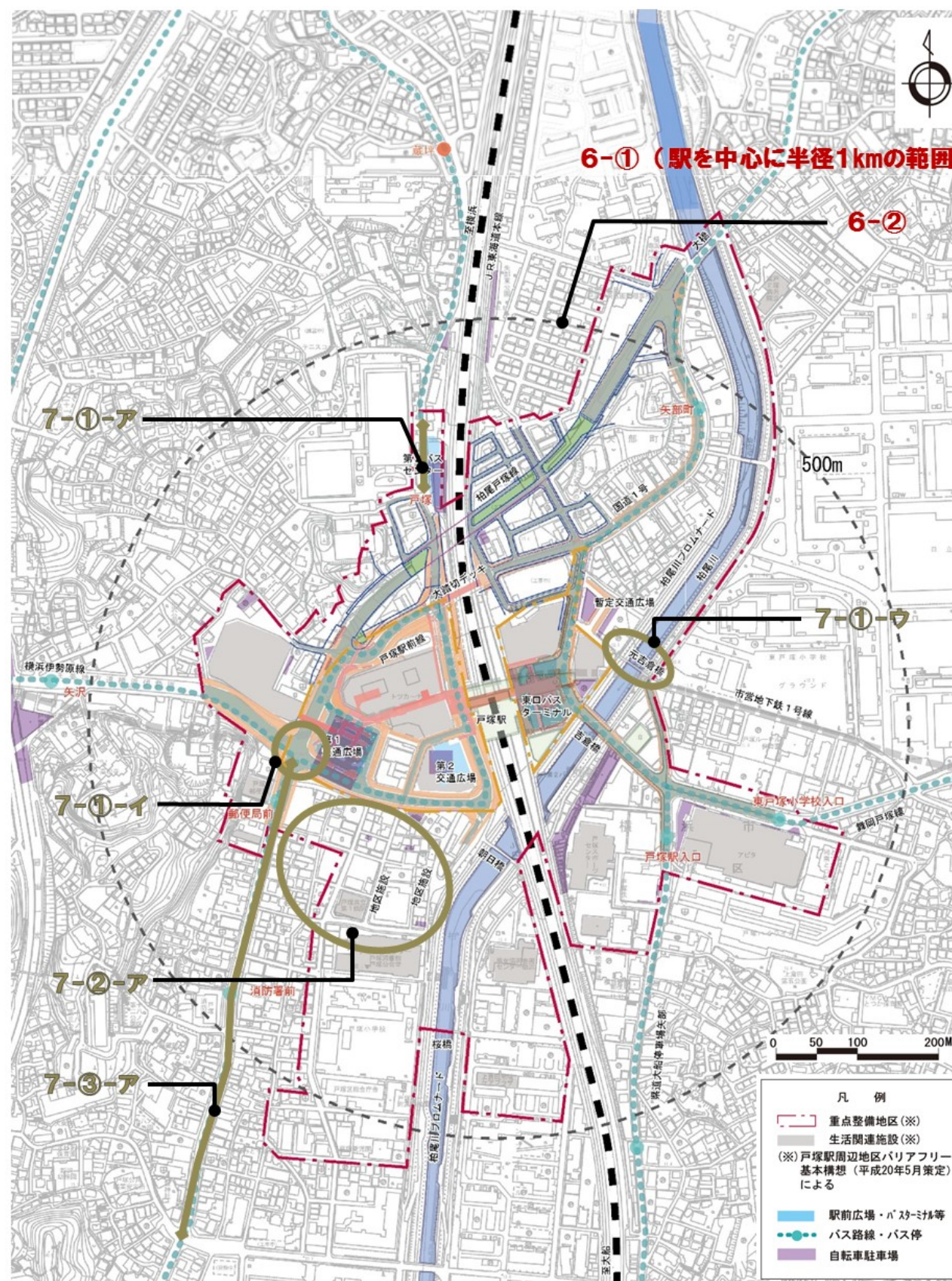
⇒実施スケジュール：短期（3年以内）

② 附置義務制度による駐輪環境の改善

【実施内容】

- ・集客施設における自転車駐車場の設置を着実に進めるため、附置義務条例を適切に運用

⇒実施スケジュール：長期（5年以上）



※ 検討の方向性等の具体的な対応については確定したのではなく、今後調整・検討を進めていく中で、変更する場合があります。

7

安全な歩行者空間の確保

① 既存道路を活かした歩行者対策

ア 市道矢部281号線（住宅展示場前）の歩道拡幅

【実施内容】

- ・現況の歩道幅1.5mから約3.0mに拡幅を実施。H29年度末から全長約160mの内、約100m区間について拡幅整備を実施し、残りの区間についても、早期の整備に向け、近隣地権者と協議を行う

⇒実施スケジュール：長期（5年以上）

イ バスセンター前交差点の交通流の円滑化

【実施内容】

- ・バスセンター前交差点の自動車及び歩行者交通をより円滑にするため、交差点の形状や信号現示の変更などについて検討

⇒実施スケジュール：中期（5年以内）

ウ 元吉倉橋周辺の通学路対策

【実施内容】

- ・戸塚駅東口の利用者数の動向や、周辺の土地利用及び移動経路の状況等を踏まえながら、対応の方向性を検討

⇒実施スケジュール：長期（5年以上）

② まちづくりの推進による歩行者対策

ア 戸塚駅西口第3地区まちづくり計画等の推進

【実施内容】

- ・戸塚駅西口第3地区計画やまちづくり計画等に基づき歩行者空間の確保を実施

⇒実施スケジュール：長期（5年以上）

③ 幹線道路整備による歩行者対策

ア 国道1号道路整備

【実施内容】

- ・国道1号の長後街道（バスセンター前交差点）から桂町戸塚遠藤線（八坂神社前交差点）までの区間について、道路の拡幅を実施。

⇒実施スケジュール：長期（5年以上）

参考 これまでの経緯 ※現時点版

I. 第1回 戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議

(1) 議題

- ①プランの検討について（趣旨説明・スケジュールイメージ）
- ②戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン（素案）について
- ③意見募集について（アンケートの内容、回答改修方法）

(2) 検討会議における主な意見交換の内容

No.	対象事項	内容（住民：下線、横浜市：太字、関係機関：斜体）
1	バス	・ <u>東口駅前広場の混雑緩和に向けて、長距離のバス路線を西口、短距離のバス路線を東口に再編することは可能か？</u> → 利用者の利便性を踏まえると、距離での線引きは不公平が生じるため、一定地区や速達性などの観点による線引きを検討していく。 ・ <u>明治学院大学行のバスが、本郷台駅を拠点とする案は実現するのか？</u> → 現時点で大学側から具体的な説明はないが、本郷台駅を拠点とした場合、相当の混雑が予想されるため慎重に対応していく。
2	自転車	・ <u>自転車の利用者数に対して、駅周辺の駐輪場が足りていない。</u> → 区役所の再開発時に地下駐輪場を整備したが、当初の予測以上に利用者が増えている状況。限られた用地の中で関係部署と整備を検討していく。 ・ <u>サイクルアンドバスライドを検討してみてもどうか？</u> → 駐輪問題については、策定した自転車総合計画による総合的な観点での対応を考えているため、同計画とまちづくりで連携しながら検討していく。
3	歩行者	・ <u>バスセンター前交差点を斜め横断できる構造としてもらえないか？</u> → 当該交差点は事故防止の観点で歩車分離構造としている。過去にスクランブル化の実験も行ったが、隣接交差点で渋滞が発生した経緯もあるため、現時点で構造を変えることは困難である。 ・ <u>事業性の観点から整備は困難と伺っているが、将来的にバスセンター上のデッキを口の字にして回遊できる構造としてもらえないか？</u> → 国道1号の拡幅を行っているため、将来的な利用も踏まえて検討する。 ・ <u>蔵坪交差点の道を広げる計画については進んで行ってもらいたい。</u> → JRと協議した結果、富士橋から坪倉交差点の手前にかけて、既存のU字側溝を撤去することに了承を得たため、当該箇所の幅員を広げる工事を進めている。今後も蔵坪交差点の拡幅に向けて調整を行っていく。 ・ <u>日立製作所の展示場横の歩道拡幅計画について、交通動線の錯綜を解消するためには1mの拡幅だけではなく車道も含めた拡幅行う必要があると思う。</u> → 西口の線路沿いの道路に関しては、色々な計画が動いているため、課題解決に向けて関係機関と引続き調整を行っていく。

No.	対象事項	内容（住民：下線、横浜市：太字、関係機関：斜体）
4	一般車	・ <u>西口の混雑緩和に向けて、駅の階段前に駐停車対策を施せないか？</u> →JRの荷捌き用地を確保する必要があるため、対策範囲は限られるがポストコーンを設置したことで、ある程度の効果が得られた。また、区役所の1階に一般車の乗降場を設けているが、利用されていない状況であるため、周知方法等も含めて検討していく。
5	タクシー	・ <u>現在の乗り場では、地下鉄から距離があるため、車椅子や年配の方は不便を感じている。</u> ・ <u>駅を降りた段階で、方面と乗り場の案内表示があれば便利。</u>
6	その他	・ <u>地域の高齢化が進んでいる中で、バスを待っている体を休めることができるよう、手摺りを設置してもらえないか？</u> →手摺に寄りかかっていることでトラブルが発生した事例もあるため、手すり以外の対応も含めて検討していく。 ・ <u>駅周辺の活性化として、橋上の改札を更に拡大するなど、公的に使えるスペースを取るのはいかがでしょうか？</u> →駅周辺の活性化に向けた1つの提案事項として受け止め、所内・関係機関と協議した上で実施の可否を検討する。

（３）検討会議の成果

- ・ プランの検討趣旨やスケジュールについて、住民の理解を得られた。
- ・ プランの検討にあたり、住民が感じている課題と検討の方向性の確認・共有。
- ・ 意見募集の実施について、住民の理解を得られた。



Ⅱ.「戸塚駅周辺のみちづくり」に関する意見募集と結果

(1) 意見募集の概要

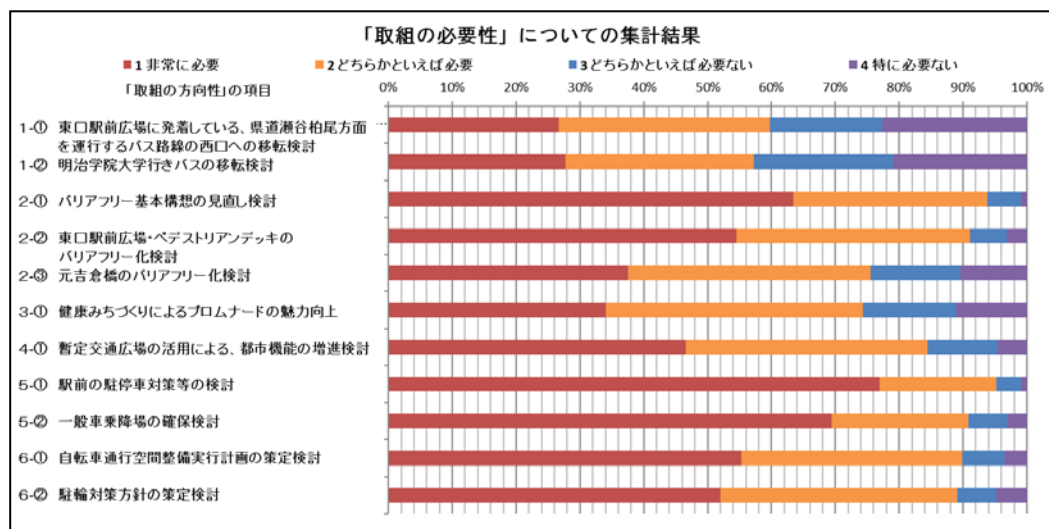
- ◆募集期間：平成 29 年 2 月 1 日（水）～ 2 月 28 日（火）（当日必着）
- ◆回答方法：①横浜市ホームページのアンケートフォーム
②アンケート用紙への記入（提出方法は郵送、FAX、E メール、持参）
- ◆募集用紙：次ページ参照

(2) 意見募集の結果

- ◆回答数：選択回答者… 232 件（HP153 件、紙 79 件）
：別紙・メール・要望書での自由意見のみ回答者… 7 件
 - ◆回答結果 ※項目により未回答や複数回答者が存在したため、回答数が回答合計数と異なる
- 「問 1. ご自身についてお伺いします。」の結果

①すまい				②年齢				③戸塚駅への行き方	
戸塚第一地区	13	上倉田地区	18	10代以下	5	60代	27	東口側	105
戸塚第二地区	5	戸塚区内その他	80	20代	8	70代	40	西口側	101
戸塚第三地区	34	戸塚区	16	30代	47	80代以上	10	両側同程度	24
柏尾地区	7	戸塚区外	38	40代	51				
上矢部地区	15			50代	42				
合計		226		合計		226			230

「問 2. 下記、取組の方向性の必要性についてお聞きます。」の結果



<取組の方向性の中でも、「特に必要性が高い」と認識されている項目>

- 1 位：5-① 駅前の駐停車対策等の検討 …218 件(約 95%)
- 2 位：2-① バリアフリー基本構想の見直し検討 …209 件(約 94%)
- 3 位：2-② 東口駅前広場・ペDESTリアンデッキのバリアフリー化検討 …204 件(約 91%)
- 4 位：5-② 一般車乗降場の確保検討 …208 件(約 91%)
- 5 位：6-① 自転車通行空間整備実行計画の策定検討 …205 件(約 90%)

※上記の件数は「非常に必要、どちらかといえば必要」が選択された件数の合計値

★「戸塚駅周辺のみちづくり」に関するご意見記入用紙

問1. ご自身についてお伺いします。

- あなたのすまい ☐ 戸塚区（☐ 戸塚第一地区 ☐ 戸塚第二地区 ☐ 戸塚第三地区 ☐ 柏尾地区 ☐ 上矢部地区
☐ 上倉田地区 ☐ その他） ☐ 区外
- あなたの年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上
- 戸塚駅への行き方 ☐ 東口側 ☐ 西口側 ☐ 両側同程度 ※利用頻度の多い方をお選びください。

問2. 次の取組の方向性の必要性についてお聞きします。（該当する枠内に○を付けてください。）

取組の方向性	1 非常に 必要	2 どちらかとい えば必要	3 どちらかとい えば必要ない	4 特に 必要ない
1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充				
① 東口駅前広場に発着している、県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線の西口への移転検討	1	2	3	4
② 明治学院大学行きバスの移転検討（※駅東口を中心に移転・分散化を検討）	1	2	3	4
2 駅周辺のバリアフリー化				
① バリアフリー基本構想の見直し検討	1	2	3	4
② 東口駅前広場・ペDESTリアンデッキのバリアフリー化検討	1	2	3	4
③ 元吉倉橋のバリアフリー化検討	1	2	3	4
3 柏尾川沿いの水辺の魅力向上				
① 健康みちづくりによるプロムナードの魅力向上	1	2	3	4
4 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進				
① 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進検討	1	2	3	4
5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車（マンション送迎バス含む）の乗降場所の適正化				
① 駅前の駐停車対策等の検討	1	2	3	4
② 一般車乗降場の確保検討	1	2	3	4
6 自転車利用環境の向上				
① 自転車通行空間整備実行計画の策定検討	1	2	3	4
② 駐輪対策方針の策定検討	1	2	3	4

問3. その他、取組の方向性に関するご意見や検討すべきだと考える内容など、自由にご記入ください。

<注 意>

- お寄せいただいた意見については、個別に回答致しません。今後のプランを検討する上での参考とさせていただきます。

【横浜市地形図複製承認番号 平28建都計第9013号】

戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン

「戸塚駅周辺のみちづくり」リーフレット

「戸塚駅周辺のみちづくり」に関する ご意見を募集しています

横浜市では、戸塚駅を中心とした地区を対象に、安全、快適で、誰もが「住み続けたい」と思える便利で魅力的なまちを目指して、駅周辺のみちづくりに取り組むため、地域の皆様や事業者と協力して、「住み続けたいまち・みちづくりプラン」（以下「プラン」といいます。）の検討を進めています。

このプラン検討の参考にするため、戸塚駅やその周辺をご利用されている皆様から、戸塚駅周辺地区のみちづくりに関するご意見を募集していますので、ぜひお寄せください。

～募集期間と回答・提出方法～

■ 募集期間

平成29年2月1日（水）～2月28日（火）（当日必着）

■ 回答・提出方法 次の①又は②の方法によりご意見をお寄せください。

①下記ホームページのアンケートフォームから、ご回答ください。

戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン ホームページ（戸塚区役所区政推進課）
<http://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/kusei/kikaku/machimichi/index.html>

②裏面のアンケートにご記入いただき、次の問合せ先まで、郵送、FAX、Eメール、または直接持参のいずれかの方法で、記入用紙を提出してください。

（FAX、Eメールについては裏面意見記入用紙のみお送り下さい。）

■ 問合せ先

横浜市戸塚区役所 企画調整係

・〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 16-17 電話：045-866-8326 FAX：045-862-3054

Eメール：to-kikaku@city.yokohama.jp



～第1回 まちみち検討会議の開催～

■ 開催概要

平成28年12月16日（金）

「第1回戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議」を開催。

■ まちみち検討会議とは

戸塚駅周辺地区における住み続けたいまち・みちづくり推進事業の実施に関し、次に掲げる事項について意見聴取する。（構成委員：関係事業者、地区の代表者、行政機関、その他）

①戸塚駅周辺地区のプランの策定に関すること。

②その他、戸塚駅周辺地区の住み続けたいまち・みちづくりに係る事項。

～プラン策定までの流れ（イメージ）～

第1回検討会議 平成28年12月16日開催

- ・プラン策定の目的 ・地区の現況・課題
- ・課題解決に向けた検討の方向性について意見聴取

今回の意見募集

平成29年2月1日～2月28日

第2回以降の検討会議 平成29年度

- ・プラン（案）に関する意見聴取

プラン策定 平成29年度末

プランに基づく事業の検討・実施

戸塚駅周辺地区

住み続けたいまち・みちづくりプラン ホームページ（戸塚区役所区政推進課）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/kusei/kikaku/machimichi/index.html>

※この記入用紙をダウンロードいただけます。



～現況・課題と検討の方向性～

戸塚駅周辺の現況・課題等を6つに分類し、取組の方向性を検討しています。

1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編再配置、機能拡充

- ① 東口駅前広場に発着している、県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線の西口への移転検討
- ② 明治学院大学行きバスの移転検討※



東口駅前広場内でのバス交通の混雑、歩行者の乱横断

※明治学院大学行きバス路線は、戸塚駅東口を中心に移転・分散化を検討します。

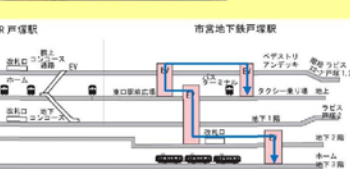
2 駅周辺のバリアフリー化

- ① 戸塚駅周辺地区バリアフリー基本構想の見直し検討※
- ② 東口駅前広場・ペDESTリアンデッキのバリアフリー化検討
- ③ 元吉倉橋のバリアフリー化検討



ペDESTリアンデッキとラビス3の接続部は階段のみ

バリアフリー対応されていない元吉倉橋



バス降車場から駅へのバリアフリー動線が確保されていない、エレベーターの乗り継ぎが多い

※戸塚駅周辺地区バリアフリー基本構想は、平成20年5月に策定しています。

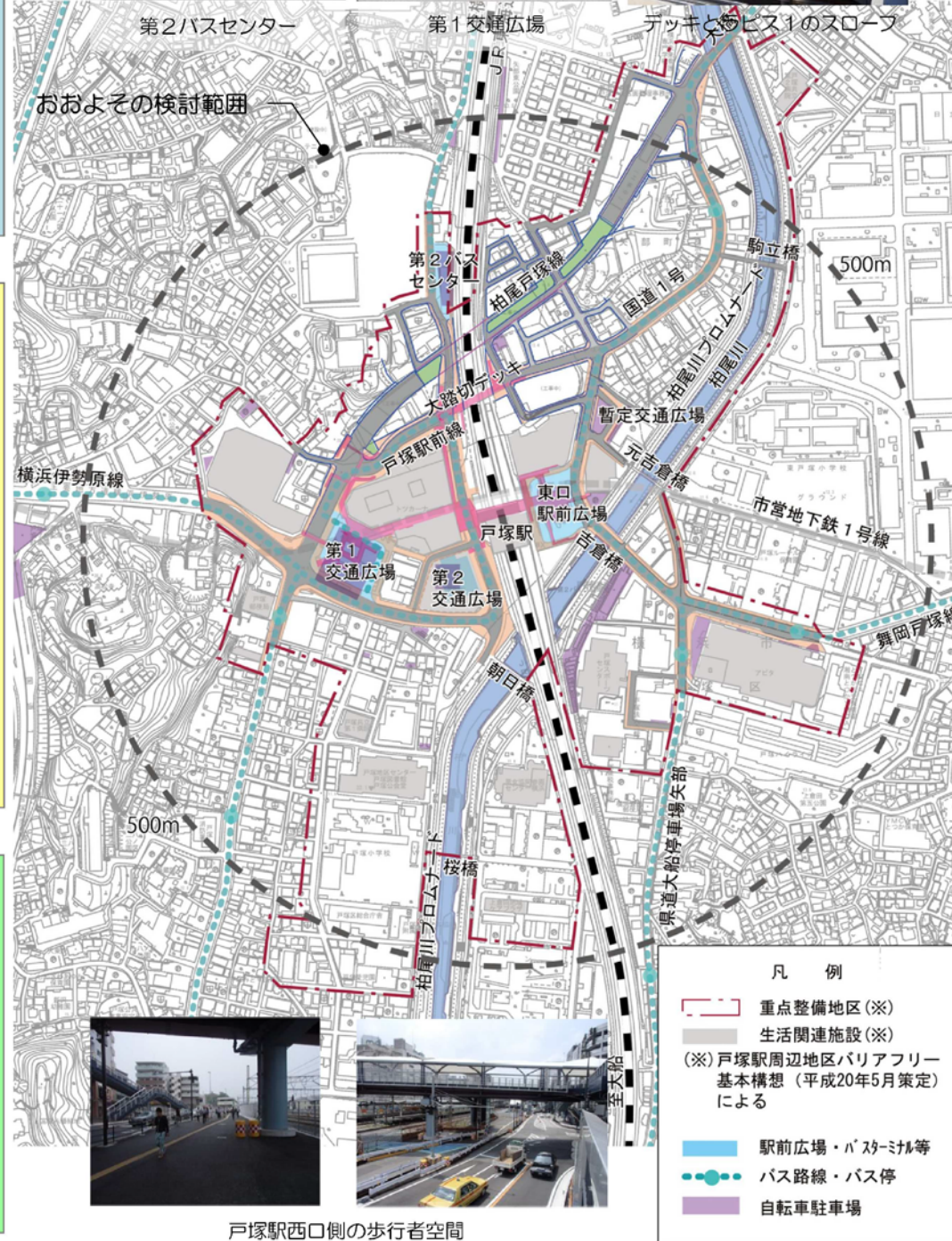
3 柏尾川沿いの水辺の魅力向上

- ① 健康みちづくり※による、プロムナードの魅力向上



柏尾川プロムナード
(距離標がなく、河川敷が暗いなど)

※健康みちづくりとは、市民の皆さまの健康増進や外出意欲の向上に資する歩行空間を整備することにより、いきいきと楽しく暮らせる活力ある横浜を創ることを目的とした事業です。



戸塚駅西口側の歩行者空間

凡 例

- 重点整備地区(※)
- 生活関連施設(※)
- (※) 戸塚駅周辺地区バリアフリー基本構想(平成20年5月策定)による
- 駅前広場・バスターミナル等
- バス路線・バス停
- 自転車駐車場

4 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進

- ① 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進検討



暫定交通広場の一般車乗降場や駐車場等利用の現況
交通広場機能の検討などによる活用が課題

5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車(マンション送迎バス含む)の乗降場所の適正化

- ① 駅前の駐停車対策等の検討
- ② 一般車乗降場の確保検討



舞岡戸塚線での渋滞、一般車の駐停車の様子



戸塚駅前線での一般車の駐停車の様子

6 自転車利用環境の向上

- ① 自転車通行空間整備実行計画の策定検討
- ② 駐輪対策方針の策定検討



自転車通行空間が不十分



戸塚駅周辺で放置自転車が
見られる

Ⅲ. 第2回 戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくり検討会議

(1) 議題

- ①意見募集結果および、自由意見結果とその結果に対する考え方について
- ②第1回検討会議、意見募集を踏まえた検討の方向性（案）について
- ③今後のスケジュールについて

(2) 検討会議における主な意見交換の内容

No.	対象事項	内容（住民：下線、横浜市：太字、関係機関：斜体）
1	バス	・ <u>国道1号のアンダーパスが開通によって、開かずの踏切の問題が解消されたため、横浜行のバスを東口から西口に戻してもらえないか？</u> →バス路線を東西でどのように分けるかは、総合的な観点（利用者の利便性や地区の意見等）を踏まえて、横浜市と協議・検討していく。 ・ <u>バス路線の東口から西口への移転にあたっては、アンダーパスを利用することによる所要時間等を示さないと、住民からの理解を得られにくいと思う。</u> →バス路線の移転はまだ検討段階であるため、地元への説明については関係機関と協議の上で詳細が決まった時点で行う。 ・ <u>プランの中で謳っている東口を発着する県道瀬谷柏尾方面のバス路線について、西口に移転することは決定事項なのか？また移転先は第1バスセンターと第2バスセンターのどちらを考えているのか？</u> →決定事項ではなく、東西に発着しているバスのバランスを考えたとき、当該路線が挙げられるということ。今後も総合的な観点を踏まえて検討していく。なお、現時点では移転先は決まっていない。 ・ <u>明治学院大学行のバスの移転場所は、東口の中での話なのか？</u> →基本的には東口の中とするが、具体的な場所については学生利用だけではなく、一般利用者も踏まえた一番いい形を検討していく。
2	歩行者	・ <u>西口の住宅公園前から蔵坪の歩道を拡幅する計画について、スケジュールとどの程度の拡幅が行われるか？</u> →11月頃に工事に向けた契約をする予定。拡幅の程度は道路構造令で必要な車道幅員を確保した上で、歩行者安全に通行できる幅を確保する。 ・ <u>バスセンター前交差点を斜め横断できる構造としてもらえないか？</u> →過去にスクランブル化の実験も行ったが、隣接交差点で渋滞が発生した経緯もあり、当該交差点だけ青信号の時間を調整することは困難である。
3	一般車	・ <u>東口の混雑について、ラピス2横における車両の駐車が要因の一つと考えているが、警察関係の取り締まりはどのようにしているのか？</u> →警察としては苦情が多いことは把握しており、現場にて注意喚起を行っているが、台数が多く空いているところに随時停まっていくため、現場での対応が追いつかない状況である。

No.	対象事項	内容（住民：下線、横浜市：太字、関係部署：斜体）
3	一般車	・西口の混雑緩和に向けて、車両が上手く循環するような形は取れないか？ →プランの中で取組の方向性の一つとして、駅周辺の交通円滑化に向けた一般車の乗降場所の適正化を謳っている。今後はその中でポストコーンの設置や、区役所下の一般乗降場東口の暫定交通広場への誘導、規制方法等を含めた対策方法を検討していく。
4	バリアフリー	・東口のバスターミナルにおいて、先日高齢者がバスを待っている間に倒れたこともあったため、2・3・4番乗り場に手摺りを早急に設置してほしい。 →自由意見の中でも、ベンチを設けてほしいという意見もあったため、所内で協議した上で調整していく。 ・東口のペDESTリアンデッキのバリアフリー化を早急に進めてほしい。 →地下鉄が入っていることもあり、エレベーターの新設は困難である。その中で、バリアフリールートの確保ということで、現状孤立している島への動線をつなげる対応策を実施する方向で調整している。
5	その他	・西口の道路景観が整備されれば、バリアフリーや駐輪・駐車の問題は解決されると思うため、道路全体という観点で検討してほしい。 →西口の第3地区においては、まちづくり計画を策定しており、同計画の中で外周道路の整備や歩行者空間の確保を謳っている。今後は建て替えの協力を頂きながら同計画を遂行していく。 ・駅周辺において、歩道の真ん中に設置されている電柱や街灯を車道また民地のどちらかに移動することはできないのか？（特に幅員が狭い箇所） →基本的には民地側に移動させることとしているが、地権者からの同意が得られにくいため、上手くいかないことが多い。また、最近では街路整備に伴って電線共同溝、無電柱化の促進している所もあるが、コストの問題もあり早急な整備ができていない。その中で、ボーリング場だった箇所の歩道を拡幅するなど、部分的な対応を進めているところが現状である。 ・駅周辺の活性化として、JRと協議の上で大踏切デッキとJRの橋上改札の間に、ショッピングセンターや公共施設の利用スペースを確保してもらいたい。

（３）検討会議の成果

- ・住民と意見募集結果、自由意見結果と結果に対する考え方の共有。
- ・プランの方向性に「安全な歩行者空間の確保」を追加することに了解が得られた。

（４）主要な自由意見

主な自由意見として、意見募集の中で多く挙げられた自由意見を、プランの取組みの方向性として挙げている7つの分野毎に整理した結果を次ページ以降に示す。

1 東口駅前広場の混雑緩和に向けた再編・再配置、機能拡充に関する自由意見

分類	回答数	主な内容
①東口駅前広場に発着している、県道瀬谷柏尾方面を運行するバス路線の西口への移転検討	18	・混雑しているので西口への移転に賛成 ・バスを東口から西口に再編成すると西口が混雑するため反対 ・坂本道路は狭い、違うルートに
②明治学院大学行きバスの移転検討	10	・バス混雑、利用者混雑を生じているので移転に賛成 ・明学バスの学生以外の一般利用にも配慮 ・地方出身学生が多いので東口から発着（反対） ・学生のマナー向上を大学へ訴える
③バス・タクシー等の乗降場所全体の再編成	7	・朝の混雑時の東口はバスの往来が困難なため発着場所の再編成 ・東口のタクシー乗り場の移転が必要
④その他	13	・広場内混雑によりバスが遅延 ・神奈中バスの後払い方式をやめる（混雑要因）

2 駅周辺のバリアフリー化に関する自由意見

分類	回答数	主な内容
①バリアフリー基本構想の策定	15	・駅前のつくりが不便で移動しにくい ・車イス利用者の駅への一般車送迎にも配慮
②東口駅前広場のバリアフリー化検討	27	・東口のEVが必要な所に不足、狭い、使いにくくて問題 ・タクシー乗り場へのアクセスが悪い ・足が悪いとEV・エスカレーターがなく使いづらい ・バス停から駅へのアクセスが階段のみの場所がある
④その他	7	・バス乗降時の段差解消 ・バス内のバリアフリー化

3 柏尾川沿いの水辺の魅力向上に関する自由意見

分類	回答数	主な内容
①健康みちづくりによるプロムナードの魅力向上	6	・親水性がない、緑化を進める（桜の手入れや並木の植樹） ・歩行者、自転車が通りやすく安全に（杭が危ない） ・プロムナード延長や土手への階段設置
②その他	9	・景観が良くない ・遊び場を確保

4 暫定交通広場の活用による、都市機能の増進に関する自由意見

分類	回答数	主な内容
①暫定交通広場の活用による、都市機能の増進検討	4	・駐輪場、一般車乗降場所の充実 ・乗降場所に屋根を設置

5 駅周辺の交通円滑化に向けた一般車の適正化に関する自由意見

分類	回答数	主な内容
①駅前の駐停車対策等の検討	41	・西口駅前の交番で違法駐停車を取り締まってほしい ・一般車を駅周辺に入れないよう通行規制 ・送迎バスの路上駐停車規制 ・戸塚区役所下の乗降場所の周知・誘導
②一般車乗降場の確保検討	28	・駅周辺に一般車の駐停車場所がなく困る、車寄せのスペースを ・一般車利用は生じるので配慮して確保すべき ・戸塚区役所下だけでは足りなく不十分 ・西口駅前のポールを撤去 ・西口駅前のバス停を移転して一般車乗降場所を確保
③自動車交通の円滑化検討	4	・戸塚区庁舎の駐車場前の路上駐車が非常に多い ・戸塚ポーリングセンターがあった道路を広くしてほしい
④その他	6	・通勤時間帯の西口駅前道路の一般車、バスの混在の解消 ・西口駅前道路のバス利用の制限 ・送迎バスが多いので公共交通に転換

6 自転車利用環境の向上に関する自由意見

分類	回答数	主な内容
①自転車通行空間整備実行計画の策定検討	27	・駅東西の行き来が不便（大踏切デッキのEV狭い、アンダーパス通行禁止） ・道路が狭いため自転車通行が危ない ・歩道も狭いため安全に通行できない ・安全な自転車通行空間を確保してほしい
②附置義務制度による駐輪環境整備	14	・有料・無料とも駅周辺に駐輪場が少ない ・違法な路上駐輪を解消 ・駐輪場の建設時設置義務化、空いている駐車場の一時有料利用、他駅に駐輪場確保し利用分散
③その他	6	・危険な自転車通行への対策 ・自転車施策の優先度が低い

7 安全な歩行者空間の確保に関する自由意見

分類	回答数	主な内容
①既存道路を活かした歩行者対策	27	・ABC住宅公園前の歩道が狭い、拡幅をしてほしい ・西口バスセンター前のデッキ接続・整備やスクランブル交差点化 ・西口バスセンター前の歩行者の青信号が短い ・朝の通勤時、元吉倉橋が狭い
②まちづくりの推進による歩行者空間の確保	3	・戸塚地区センターから柏尾川プロムナードへの道路が危険
③幹線道路整備による歩行者対策	1	・国道の拡幅、自転車道、無電柱化、緑化の整備
④その他	21	・西口駅前道路に横断歩道がなく歩行者が渡って危険 ・夜、暗い道路への照明設置

8 その他 の自由意見

分類	回答数	主な内容
その他	89	＜駅周辺利用者の利便性向上・不便解消関係＞ ・ 駅周辺の案内が分かりにくい ・ バス停の利用ルールを明確にしてほしい ・ 大踏切デッキからの JR 改札をつくる ・ 高架道路に横断歩道設置 ・ タクシー乗り場が駅前になくて不便 ・ 駅前にベンチ等の休める所がない ・ アピタ前の青信号が短いので調整して長く ＜自動車交通の改善、交通ルール啓発関係＞ ・ 混雑する吉田大橋への右折レーン設置 ・ 警察の取り締まりやマナー啓発のパトロール等 ＜行政全般、戸塚への施策＞ ・ 戸塚を暮らしたい魅力あるまちに ・ マンション等による人口増に対応した整備 ・ バスの利用に対して税金を使う ＜その他＞ ・ 他駅や不便地区へのバスルート・運行台数増加 ・ 各バス停にベンチを設置や屋根の改善 ・ 新しいバスターミナルができるとよい ・ 公園や緑が少ない

戸塚駅周辺地区
住み続けたいまち・みちづくりプラン
(案)

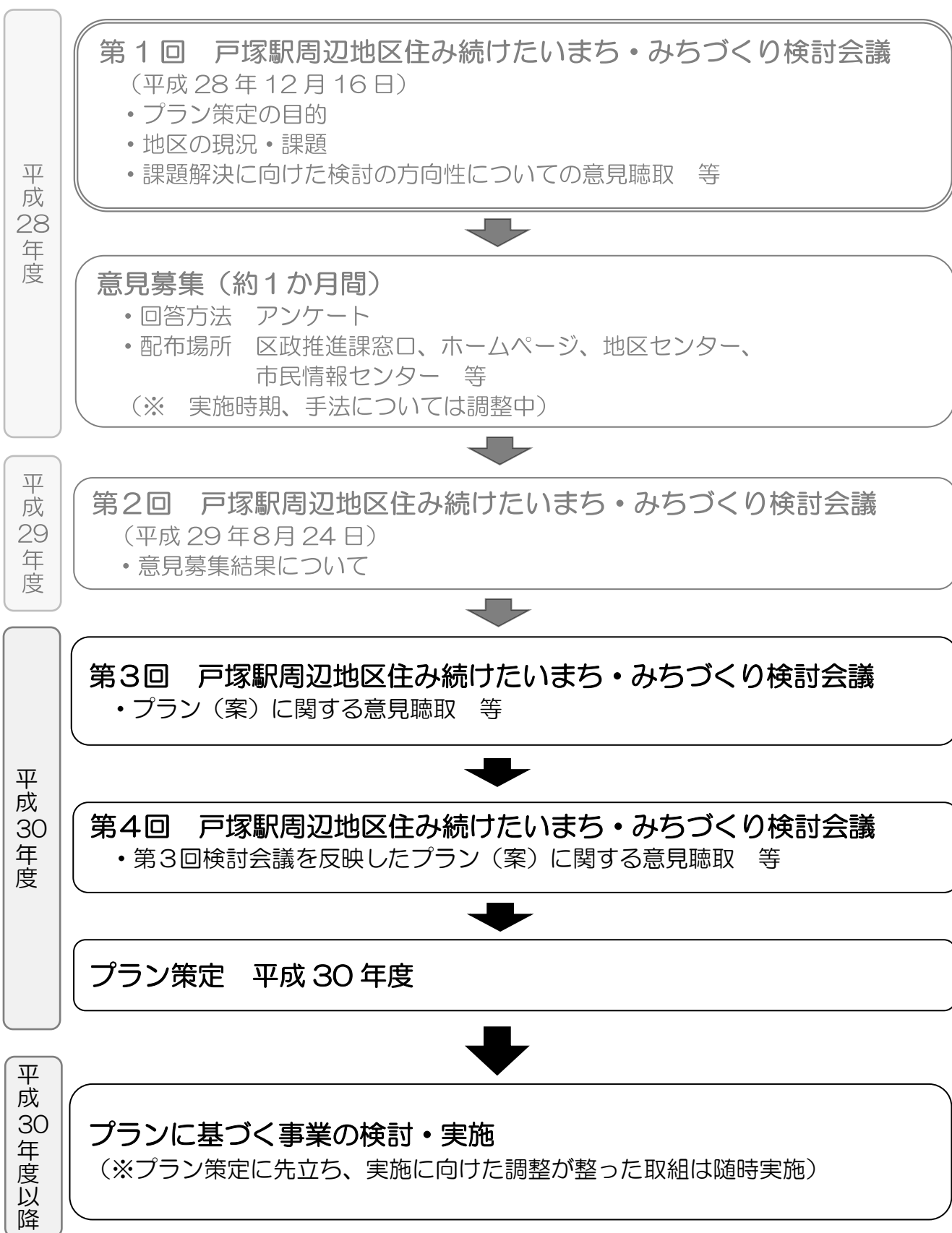
平成 年 月

横浜市道路局 計画調整部 企画課 計画調整担当
横浜市中区港町1-1
電話：045-671-4086 FAX：045-651-6527

横浜市戸塚区役所 総務部 区政推進課 企画調整係
横浜市戸塚区戸塚町16-17
電話：045-866-8326 FAX：045-862-3054

【横浜市地形図複製承認番号 平 30 建都計第 9039 号】

スケジュールイメージ



※ 現時点でのスケジュールイメージをお示ししたものであり、検討会議での議論や検討の進捗状況等に応じて、変更の可能性があります。